

衆議院議員三ツ林裕巳先生と衆議院議員畦元将吾先生へ 年頭のご挨拶および政策に関する意見交換

2022年1月14日（金）、公益社団法人日本診療放射線技師会 富田博信副会長と共に、衆議院議員三ツ林裕巳先生、衆議院議員畦元将吾先生へ表敬訪問を行い、年頭のご挨拶と政策について意見交換をさせていただきました。

「告示研修に関すること」「タスクシフトにおける診療放射線技師の活躍」「保険点数に伴う診療放射線技師待遇の改善」など、多岐にわたる分野での意見交換をさせていただきました。



左：富田副会長 中：三ツ林衆議院議員 右：田中会長

左：田中会長 中：畦元衆議院議員 右：富田副会長



左：田中会長 中：畦元衆議院議員 右：富田副会長

2021年度 第12回CT認定試験開催報告

学術理事 中根 淳

2022年1月8日（土）に、オンライン環境のみで第12回CT認定試験を開催した。認定試験の受験者数は12人であった。今回のCT認定試験は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、会場集合型から切り替えてオンラインで実施をした。オンライン開催のため、他県からの受験もあった。内容は、例年通り筆記・読影・物理特性の3つの試験を実施し、各試験70点以上で認定取得となる。ただし、物理特性は、講習会で実施したNPS、MTF、SSPzのどれか2つ選択し、講習会で配布した資料を見ながら解析して構わないとしている。試験当日はオンラインという初めての試みであったが、ページングによる読影もリモートデスクトップアプリケーションなどを活用し、会場型と同じような試験を構築し、大きなトラブルもなく終わることが出来た。今後も、オンラインにて継続的に認定試験は実施する予定である。

最後に認定試験を行うにあたり、問題作成にご協力いただいた講師の先生、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

【CT認定者】敬称略

A 認定：該当者なし

B 認定：嶋崎 恭介（上尾中央総合病院）
中村 英明（静岡済生会総合病院）
岡野 翼（総合東京病院）
宮本 桃子（上尾中央総合病院）

認定試験を合格された方々には、各施設でCT検査の技術向上において中心的な役割を担っていただけたら幸いです。

2021年度 救急セミナー Web 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 学術理事 滝口 泰徳

2022年1月12日（水）にWeb会議システムを用いて、第5回 2021年度救急セミナー Webを開催しました。参加は19人の申し込みがありました。内訳は、埼玉県以外にも多くの地域からの参加があり、オンラインセミナーのメリットと考えています。内容と講師は、以下の通りです。

プログラム（敬称略）

総合司会

		JCHO 船橋中央病院	滝口 泰徳
19:00~19:30	DMATにおける診療放射線技師の役割～私たちにできること～	上尾中央総合病院	井田 篤
19:40~20:10	災害対策をはじめよう！	埼玉医科大学総合医療センター	大根田 純
20:20~20:50	緊急時に備えていますか？心肺停止患者対応の訓練と課題	さいたま市立病院	野々浦成美

埼玉県診療放射線技師会では救急撮影ケーススタディとして、「1つの疾患に対して、身体所見、生理検査から総合的に画像検査を捉える」ことを目的にグループワークを含む講習会を行ってまいりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の観点から今年度も集合型での講習会は難しく、Web（Zoom）を用いたオンラインでの座学中心の講習会を救急セミナーとして企画しました。今回はケーススタディではテーマにしにくい災害医療や心肺停止患者の対応について各施設の取り組みを紹介しました。

今回のテーマはどれもいつ起こるかわからない災害や緊急事態に対して、どれだけ備えることができるのかということを改めて考えさせられる内容でした。このような企画は会員の皆さまにとって有意義であると考えています。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

2021年度 乳腺セミナー開催報告

学術担当 亀山 枝里

埼玉県診療放射線技師会主催の乳腺セミナーは、2022年1月16日（日）、コロナ禍のためオンライン開催となりました。受講された参加者数は22人でしたが、オンライン開催の利点でもある遠方からの参加もみられ関心の高さを知ることができました。

今回のセミナーではマンモグラフィだけではなく、乳腺エコーや乳腺MRIについても学ぶことができ、症例検討では一つの症例をモダリティごとに読影を行い、病理から治療方法まで一連の流れで学ぶことができる内容でした。また、読影の際にはZoomの投票機能を使用することで、オンラインセミナーでも座学だけではなく、受講者参加型のセミナーとなりました。

セミナー後のアンケートに関しても、良かったとの回答をいただけ、次回開催に向けてのご意見もいただきました。今回ご講演いただきました山田先生、新島先生、坂井先生にはこの場をお借りしお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

総合司会：亀山 枝里（熊谷総合病院）

13：00～14：00	マンモグラフィの基礎と読影法	山田 智子（さいたま赤十字病院）
14：00～15：00	乳腺エコーの基礎と読影法	新島 正美（熊谷生協病院）
15：10～16：10	乳腺MRIの基礎と読影法	坂井 香澄（関東中央病院）
16：10～17：10	症例検討	山田 智子（さいたま赤十字病院） 新島 正美（熊谷生協病院） 坂井 香澄（関東中央病院）

2021年度 上部消化管検査認定講習会&認定試験 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 学術委員 浅見 純一

2022年1月23日（日）に2021年度上部消化管検査認定講習会を、Zoomを利用したオンライン形式で開催しました。申込者数は17人で全講習会を聴講し修了された方は12人でした。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、今年度も前回と同様に、完全オンライン形式での開催となりましたが、広島県や熊本県などの遠方から参加された方もいましたので、オンライン開催による効果だと思っております。今後もより充実した講習会を目指すように企画して参ります。

また、2022年2月6日（日）に第18回上部消化管検査認定試験を開催しました。今回より、筆記試験、読影試験はオンライン試験となり、準備など含めて大変ではありましたが、大きなトラブルもなく開催することが出来ました。県外の方を含めた18人が受験して、B評価者が2人という結果でした。今後も、新型コロナウイルスの感染状況に左右されないように、講習会や認定試験を企画して参りますので、ぜひ、ご参加ください。講習会のプログラムおよび講師は下記の通りです。

プログラム（敬称略）

開催日：2022年1月23日（日）

会場：Zoomを利用したオンライン講習

8：30～ 9：30	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	浅見 純一（行田中央総合病院）
9：40～10：40	被ばく管理	志田 智樹（丸山記念総合病院）
10：50～11：50	受診者管理 （造影剤・検査説明・接遇・情報管理）	伊藤 寿哉（埼玉石心会病院）
11：50～12：50	昼休み	
12：50～13：50	上部消化管撮影技術	池田 圭介（済生会川口総合病院）
14：00～15：00	上部消化管検査に必要な病理	今出 克利（さいたま市民医療センター）
15：10～16：10	上部消化管検査に必要な読影	今出 克利（さいたま市民医療センター）
16：20～17：20	精密検査法とレポート作成	大森 正司（さいたま赤十字病院）

終わりに、参加された受講生の皆さま、講義を担当して頂いた先生方に、この場を借りて深くお礼申し上げます。

【講師の方々】



本会の動き

【上部消化管検査認定者】

A 認定：なし

B 認定：中村 隆行（済生会川口総合病院）

澤田 英二（三郷中央総合病院）

認定試験を合格した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めて頂きたいと思っております。



2021年度 第19回 胸部認定試験 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 学術理事 滝口 泰徳

2022年1月30日（日）に埼玉県診療放射線技師会主催の第19回胸部認定試験がオンライン形式で開催されました。認定試験の受験者は県内外合わせ11人でした。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、認定講習会および認定試験の開催は叶いませんでしたが、今年度はオンラインで試験を行うことで無事に開催することが出来ました。

開催方法はZoomで受験者と通信を行ったまま、Webのアンケートサイトを用いた読影問題、および筆記問題を回答する方法をとりました。可能な限り従来の試験との格差をなくすため、筆記試験は選択方式、読影試験は記述方式で回答を収集しました。読影試験に関しては3回前より高精細モニタを用いた試験方式でした。一人につき1台のモニタで、3分おきに変わる画像を読影する方式をとっていましたが、「拡大表示をしたい」、「制限時間内に自由に読影したい」との意見を頂いており、そちらに関しては今回の試験方式で改善されたのではないかと思います。ただ、オンライン方式での受験者のほとんどが通常のPCで参加しており、モニタの輝度や解像度、医用モニタではないことによるコントラストの違いにより、少数ではありますが「画像が見にくい」との意見があり、今後の課題とさせていただければと思います。

認定試験を行うにあたり、問題作成にご協力いただいた講師の先生方、オンライン開催に向けさまざまな意見を下さった学術委員、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

認定試験の結果は以下の通りです。

【胸部認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：大塚 虹歩（三愛病院）
 輪島 健大（伊奈病院）
 白石 健吾（埼玉医科大学総合医療センター）
 上野 真帆（上尾中央総合病院）
 吉田 寛将（西大宮病院）
 鈴木愛理沙（西大宮病院）
 中村 亮太（上尾中央総合病院）
 中里 奨（済生会川口総合病院）

認定試験を合格者した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただければ幸いです。

2021年度 MRI基礎講習会 (Web) 開催報告

埼玉県診療放射線技師会
学術理事 近藤 敦之

埼玉県診療放射線技師会が主催してきたMRI基礎講習会は、昨年引き続きZoomを利用したオンラインセミナーとし2022年2月12日(土)に開催した。内容は、問題解説が中心となった。受講者は46人であった。

プログラム (敬称略)

2022年2月12日(土)

12:30~	入室開始		
13:00~14:00	基礎分野問題解説	自治医科大学附属さいたま医療センター	池田 欣正
14:10~15:10	技術分野問題解説	埼玉医科大学総合医療センター	細井 慎介
15:20~16:20	管理分野問題解説	さやま総合クリニック	坂口 功亮
16:30~17:00	試験傾向と最新技術解説	埼玉医科大学病院	近藤 敦之

基礎分野問題解説は基礎物理、正常解剖、画像解剖、読影に関連した分野を池田先生に解説していただいた。初心者から上級者までの全ての土台となる部分を丁寧に解説していただいた。技術分野問題解説では、MR撮像、画像再構成、シーケンスやアーチファクトの問題を細井先生に解説していただいた。磁気共鳴専門技術者の中でも幅広い知識が求められる分野をわかりやすく解説していただいた。管理分野問題解説は安全管理に関連する分野であり、坂口先生に解説していただいた。この分野は、実臨床において重要であり、安全なMRI検査を行うための基本事項をしっかりと解説していただいた。試験傾向と最新技術解説では、基礎講習会の追加説明、除外問題の解説、技術解説(Boneイメージング)を取り上げました。最後に、講師の皆さま、受講者の皆さま、協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

放射線被ばくに関する講習会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
公益理事 紀陸 剛志

2022年2月19日（土）に埼玉県診療放射線技師会主催の放射線被ばくに関する講習会が、オンラインにて開催されました。参加者は25人でしたが、埼玉県外からの申し込みも多数ありました。オンライン開催の利点でもある、遠方からの参加者の多さから、放射線被ばくに関する関心の高さを知ることができました。

今回は、今一度「放射線被ばくについて見直してみよう」という趣旨から、会員の皆さまには、改めて放射線防護を考えるべく、患者さんに対する放射線防護、医療従事者に対する放射線防護、それぞれについて考え直すきっかけとなるよう、講師の方々にご講演いただきました。特別講演では、「放射線について考えよう。」というテーマで、同著者の多田先生にご講演いただきました。われわれが、放射線について忘れていたり誤解して記憶していることをご教授いただきました。さらには、放射線事故や放射線を扱うことに対する再教育の重要性を感じる、非常に興味深い講演内容でした。

最後に、講演会の途中の通信トラブルでは、不測の事態でご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。また当講習会にご協力いただきました講師の方々、ご参加いただきました会員の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

総合司会 埼玉医科大学病院 紀陸剛志

1. 放射線防護について考える～患者編～

- | | | |
|-------------------|---------------------------------|----------------|
| ①放射線防護の最新知見 | JART 医療被ばく安全管理委員会 | 鈴木 賢昭 |
| ②放射線防護の現状（東京多摩地域） | 公立福生病院 | 野中 孝志 |
| ③放射線防護の現状（埼玉県） | SART 公益委員 さいたま赤十字病院
上尾中央総合病院 | 大河原侑司
嶋崎 恭介 |

2. 放射線防護について考える～従事者編～

- | | | |
|-----------|-----------|-------|
| ①改正電離則の概要 | さいたま赤十字病院 | 北山 早苗 |
| ②実践的従事者防護 | 上尾中央総合病院 | 佐々木 健 |

3. 特別講演 「放射線について考えよう。」

大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 准教授 多田 将

第3回SART被ばく相談事例検討会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
公益理事 紀陸 剛志

2022年2月22日（火）に埼玉県診療放射線技師会主催の第3回SART被ばく相談事例検討会が、オンラインにて開催されました。参加者は17人でしたが、埼玉県外からの申し込みも多数ありました。オンライン開催の利点でもある、遠方からの参加者の多さから、被ばく相談に関する関心の高さを知ることができました。

診療放射線技師として日ごろ、診療にたずさわる中で、被ばく相談をされた際に、なんて答えようか不安がある方、被ばく相談に上手く対応できなかった経験をお持ちの方、被ばく相談に興味がある方々にご参加いただきました。

今回も埼玉県診療放射線技師会の公益委員が、講師を務めました。公益委員の主な活動の中に、メールによる被ばく相談があります。被ばく相談は、対面式や電話、メールなどさまざまな形態がありますが、基本的な考え方や進め方、伝え方は同じだと思います。その被ばく相談を“ととのえる”為を知っておきたいコツと、被ばく相談のノウハウを事例紹介とともにご講演いただきました。質疑においても、積極的な意見交換が行われ、ご参加いただいた皆さまと一緒に、被ばく相談について考えることができたと感じております。

最後に、当講習会にご協力いただきました講師の方々、ご参加いただきました会員の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

総合司会 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志

1. 【19:00～19:30】

放射線被ばくに関する基礎知識

埼玉県立小児医療センター 佐藤 克哉

2. 【19:30～20:40】

被ばく相談を“ととのえる”為を知っておきたいコツ

①傾聴法や被ばく相談について

白岡中央総合病院 石田 仁子

②事例紹介

済生会栗橋病院 内海 将人

③質疑応答